<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	アソビエクラブ湘 ShoW				
H30採択グループ番号	07	—	0690	—	0295

A H30年度にグループとしての力を入れた取組み

内容	≪H30年度おもな取組≫ 1、ハイレベルな省エネルギー住宅の供給 2、未経験工務店の技術力アップ 3、地域材活用割合アップ 1、ハイレベルな省エネルギー住宅の提供のために、グループの目標数値と同等もしくは上回る住まい作りをすることを徹底した。構成員の研修を増やし、消費者への訴求力を高めた。高気密高断熱の良質な住宅提供ができた。また消費者啓発の観点から、情報発信に努力した。グループの提供する省エネ住宅の特徴と優れた点をアピールし、関心を持ってもらえるように、インスタグラム、フェイスブックなどのSNS、グループのホームページを通じて発信した。3、地域材活用の割合を増加させることに努力した。地域産業活性を念頭に置き、県産材利用努力した。また、一定の成果を出すことができ

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/10	名称	31年度グリーン化事業会議				●
	内容	31年度のグリーン化事業について、会議を開催した。構成員の意思確認とグループの基本方針の決定が柱となった。構成員のメンバーの確認、グループルールの改善点や問題点、木材等の新規構成員や体制計画についての見直し、を行った。また、省エネルギーの目標設定について議論した。補助金の配分の方法や希望について、意見を募った。応募までに3回、横浜に於いて会議を行う。								
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/08/05	名称	大工さん体験会　こども工務店				●
	内容	DIY体験会を行い、お子様も交えて消費者に大工体験をしてもらった。 また、同時に省エネルギー住宅の学習会を開催し、関心を持ってもらうことができた。								
	消費者説明会 2	有	開催日	2018/10/13	名称	構造見学会＆省エネルギー住宅学習会				●
	内容	消費者向けの構造見学会を開催し、期間中、2回にわたって省エネルギー住宅学習会を開催した。 高気密高断熱住宅の必要性と重要性を学んでもらった。 また、地域型住宅の優れたデザインや機能を展示した。								
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/24	名称	アソビエクラブ湘　家づくり教室	タイプ	座学		●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/05/27	名称	おうちセミナー 2018	タイプ	座学		●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/10/28	名称	構成員の木材工場見学会	タイプ	見学会		●
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/08/19	名称	アソビエクラブ湘　木と森の集い イベント	タイプ	実習		●
	工務店研修会 5	有	開催日	2018/11/11	名称	アソビエクラブ湘　木と森の学習会	タイプ	実習		●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	経験工務店による指導により、家づくりや実際の申請方法について、勉強会を開催した。 各種認定の取得方法、申請方法、注意点やスケジュールについて学んだ。		
取組み②	サポートの有無 2	有		●
	内容	3ヵ月に1回の割合で、横浜会場で開催された。 出席率は毎回100%だった。		
取組み③	サポートの有無 3	有		●
	内容	未経験工務店は、毎回、問題点や疑問点を持ち寄り、経験工務店によるQ＆Aの時間を設けた。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	54	発行予定	15	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	倒産、廃業等が発生した場合は、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテンナンス等のサポートを実施し、協力し合うこととしている。 また、グループのエリアを4つに分割し、各自の担当エリアのサポートに当たることとしている。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級4の省エネルギー住宅の供給を行った。質の高い断熱材を施工し、高気密化・高断熱化に努めている。節水型トイレや高断熱浴槽・高気密サッシを標準設置としており、地域型住宅アソヴィエの特徴でもある。 気密測定実施を必須化し、信頼性確保に努めている。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	省エネルギー講習会への参加者を増やすように努めている。 一定の成果を得ることができた。 また、BELS工務店、ZEH工務店登録も100%を目指している。	
BELS工務店の登録数	2 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	アソビエクラブ湘 ShoW				
H30採択グループ番号	07	―	0690	―	0295

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/29	名称	31年度グリーン化事業会議			
	内容	31年度事業について、会議を開催する予定である。具体的には、各構成員の契約状況や契約計画を把握し、補助金を速やかに配分する予定である。また、グループルールの周知と再確認、徹底を行う。性能に関する数値の確認や計画について話し合う。また、11月以降に行われる、先着順方式について確認作業を行う予定である。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/21	名称	アソビエクラブ湘 おうちの学校			
	内容	消費者向けの学習会で、年に4回開催している。 省エネルギー住宅の重要性を伝え、使用されている工法や素材、設備、について知ってもらう。 また、楽しいイベントも同時開催し、集客に努力する。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/08/17	名称	アソビエクラブ湘 構造見学会			
	内容	消費者向けの構造見学会で、年に複数回開催している。 夏以降の開催については、定例会で話し合っていく予定である。省エネルギー住宅の構造を体感してもらい、啓発に勤しむ。また、共感を得るデザインのサンプル写真の展示を行い、イメージを膨らませてもらう計画である。							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/20	名称	住宅断熱化研究会	タイプ	座学	
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/22	名称	省エネルギー住宅研究会 in Yokohama	タイプ	座学	
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/01	名称	リクシル工場見学会	タイプ	見学会	
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/11/24	名称	先導的モデル研修会	タイプ	座学	
	工務店研修会 5	有	開催日	2019/12/15	名称	ZEHセミナー	タイプ	座学	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	横浜で毎月開催されている定例会に於いて、一定時間を確保し、毎回座学を設ける予定である。 内容としては、経験工務店によるガイダンスである。 各種申請の特徴や申請方法、抱えやすい問題点の解決方法、をレクチャーしてもらう。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	未経験工務店は、できる限り実践に移すようにし、問題点にぶつかった際には経験工務店の援助を得るものとする。	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容	また、その規模は小さいものから挑戦することとし、無理のない計画をたてる。	

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	相互の連携を深め、すみやかに対応できるように体制づくりを進める。 基本的には、最寄構成員がサポートし、グループはバックアップする。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	省エネルギー性能や数値と工法・設備に関する学習を深め、より高度な省エネルギー住宅の提供に努めていく。UA値0.58のグループ基準をクリアし、高品質な高気密高断熱住宅とする。 また、消費者教育に力を入れ、楽しみを盛り込んだ啓発活動を活発化させる予定である。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	定例会に於いて、改修における省エネルギーのポイントを確認し合っていく予定である。 一定レベル以上の効果を得る断熱改修について学びを深める。 定期的に事例を紹介しあって、各々の現場に活かしていく。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/08/03	
内容	断熱改修研修を行う。 効果的な改修方法を、実例をもとに学ぶ。			
研修計画 ②	有	実施日	2019/09/14	
内容	改修の際の注意点や問題点について、専門家を招き研修会を行う予定である。 質疑応答の時間を設けてもらい、実践に繋がる研修会としたい。			

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	アソビエクラブ湘 ShoW				
H30採択グループ番号	07	―	0690	―	0295

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	対象地域である神奈川県、東京都、千葉県の地域的特徴から、基礎に断熱材を施工し高気密・高断熱のサステナブルな省エネルギー住宅を供給していく。ヒートアイランドによる高温多湿を避け、地震災害に耐えうる耐震性能を保持する住宅とする。また、「健康な家」「省エネの家」「遊びのある豊かな暮らし」の3大テーマを引き続き提唱し、何世代にも亘って安心に住まうことができる健康住宅を提供する。デザインも機能的で可変性が高く、維持保全コストを考慮したバリアフリー環境を提案していきたい。	●

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	地域型住宅の地域材供給の流れについて （構成員を含まないことの理由を含む）
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	原木が国有林、県有林等から供給される地域があるため、該当地域においては原木供給業者が含まれない。 一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合がある。 この為、流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	無	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	木材構成員の協力を得て、一部地域材調達の共同化を行っている。 今後はその割合を増やしたいと計画している。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	建材流通構成員とグループ事務局の努力により、一部資材の調達の共同化を行っている、各現場の事情で難しい場合を除き、共同化を進めていきたいと計画している。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化は事務局が中心となって行っているが、難しい面もあり、今後工夫していきたいと計画している。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	各構成員の運営を脅かさない範囲で、施工に関する統一ルールを運用している。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループとして基本方針を決定しているが、各構成員により独自の運用がある場合は、可能な範囲で遵守してもらっている。 基本的には情報サービス機関によるプログラムに従い、メンテナンスを実行し、その記録書を3者間で共有する体制を布いている。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	外皮性能検査、気密測定に於いて検査ルールを設けている。 信頼性の確保のために、性能や数値を証明する証明書や保障証を必ず取得することとし、情報サービス機関で情報の蓄積をしている。 地盤に関しては『20年間地盤保障』や『地盤簡易液状化診断』『地盤保証書』により信頼性を高める努力を講じている。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	『神奈川の木の植樹』を行い、環境美化、環境緑化に貢献する取り組みを継続していく予定である。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	無理な工期設定を避け、可能な限り週休2日制としている。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技能や経験を正しく反映させた評価となるよう努力している。 また、その内容に見合う適正な対価としている。
③ 社会保険への加入	有	内容	加入を必須としている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	作業者の疲労による事故や怪我を引き起こさないよう、作業スケジュールや環境づくりに注力していく。 また、安全確認や声掛けをおろそかにしない努力をしている。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	アソビエクラブ湘 ShoW				
H30採択グループ番号	07	—	0690	—	0295

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	近年はモダンなデザインやカラーも増えたため、多く受け入れられるようになった。 リビングなどのポイントとして、引続き、普及に努める。
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	アクセントとして、和の空間や和の素材を奨励していく。 特に障子は光との調和で美しい和空間を作り出せるため、採光部などにも奨励していきたい。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	和室、畳、障子、和ダンス風家具、和風棚等の取入れを積極的に行っていく。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	鎌倉彫、箱根寄木細工、小田原漆器の要素を活かした伝統的なデザインを奨めていきたい。和の空間を活かした設計や造作を奨励していく。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	関東の地域の伝統的な住まい方を大事にし、継承に努めていく。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	神奈川県の木を植樹し緑化に努める取り組みを継続して行っていく。 また、街並み緑化と景観美化、地域産業に貢献していく。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

昨年同様、努めて行っていく。
主には地域材活用となる。

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

供給地域の大災害については、その災害規模や被害状況に応じ、迅速で適切な対応を講じるものとする。